

目標および成果指標の設定 記入様式

活動団体名：阿嘉区

上位関連計画にみる地域の将来
 ○地球温暖化対策推進法や政府の目標：2013年度比で2030年までに46%削減、2050年までにカーボンニュートラル達成
 ○第5次エネルギー基本計画における、2030年に実現を目指す再エネの電源構成比率：22～24%、2030年に実現を目指す実質エネルギー効率（最終エネルギー消費量／実質GDP）35%減。
 ○現在の人口：●人、将来：●人（2030年）、●人（2045年）（日本の地域別将来推計人口（平成30年推計））
 ○地域の総合計画に示された将来目標 現状：●●→目標：●●（●年）、現状：●●→目標：●●（●年）
 ○地域の環境分野の上位計画の将来目標 現状：●●→目標：●●（●年） 現状：●●→目標：●●（●年）

②具体的な取組
 ※誰が何をするのか、主なものをお書きください。
 製塩づくり：現在この事業にかかわっている4名の島民を中心に今後検討
 空き家問題：現在この事業にかかわっている2名の島民を中心に今後検討
 遊休農地島らっきょ生産：現在この事業にかかわっている4名の島民を中心に今後検討

①ありたい未来
 ※どのような地域にしたいのか、何を引き継いでいきたいのかなど、具体的にお書きください
 Vision：「観光産業×6次産業化で付加価値の向上と稼ぐ力をつける」の実現に向け、これまで地域に眠る資源を洗い出してきました。一つ一つの問題を解決していくことで生きがい、やりがいの創出、6次産業化、産業振興を通して自立した地域経済の創出に繋げる。活気のある地域づくりを目指し、質の高い観光業の提供と連携事業の創出に繋げ、魅力ある島をつくる。

③短期目標

分野	小項目	成果指標	現状値	目標値 (2023年度末)	実績値 (2023年度末)	単位
環境	濃縮海水を使った塩づくり	製塩事業者視察	1	2	1	回
	住宅環境整備	家主にヒアリング	3	30	3	戸
	島らっきょ作付面積拡大	地主探し	29	59	29	戸
経済	製塩事業計画書作成	会議	0	14	0	回
	空き家活用を考える会議	会議	0	9	0	回
	島らっきょ生産量UP	作付け面積	50	100	50	%
	島らっきょ商品開発	会議	1	5	2	回
社会	やりがい、生きがいのある人生	取り組みを楽しめているか	0	50	0	%
	アイデアや意見が言える地域	意見交換会	1	3	1	回

④長期目標

分野	小項目	成果指標	現状値	目標値 (2023年度末)	目標年度 2030-2050年度	目標値	単位
環境	濃縮海水排出ゼロ	海に流す排出を0にし製塩に	0	20	2035	100	%
	空き家数を減らし人口増	少子化問題に歯止めをかける	0	1	2035	70	%
	遊休農地解消	島らっきょ生産者が増える	3	20	2035	20	人
	林業をする事業者が増える	山の手入れで海洋資源がよみが	0	5	2035	80	%
経済	製塩事業スタート	商品開発	0	0	2035	5	商品
	家賃収入	空き家家主の収入源	0	2	2035	20	人
	島らっきょ商品販売	商品開発	0	1	2035	3	商品
	島らっきょ生産者増	収穫量UP	3	20	2035	20	人
社会	観光満足度UP	地産地消の取り組み	0	10	2035	100	%
	島民の活力向上	何事にも積極的になる	0	10	2035	100	%
	住みたい島に選ばれる	生産人口増、こども増	0	0	2035	80	%

⑤短期指標が長期目標にどのように関わるのかお書きください

長期目標を達成するために何が必要かを洗い出し、期限を決めた短期目標の設定を行い、PDCAを回す。

※環境・経済・社会がどのように関係し合い、相互に高まっていくのか具体的にお書きください

活用されていない資源を活用することで阿嘉島が抱える様々な問題の解決に繋げる。
 空き家の賃貸利用ができれば、島に人が増える。製塩事業で雇用創出、らっきょ生産で収益増加。これらを通して人口増加、雇用創出ができ、地域が抱える人口減少問題の解決の一步に繋げる。さらに連携事業が生まれ新たな雇用創出、生きがい、やりがいもてる産業振興に繋げていく。